



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート

コード番号 3850 URL <http://www.intra-mart.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中山義人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 鈴木誠

TEL 03-5549-2823

四半期報告書提出予定日 平成27年1月30日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,949	△2.0	△51	—	△42	—	△27	—
26年3月期第3四半期	3,008	31.8	46	△68.5	33	△77.8	15	△82.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △49百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 28百万円 (△64.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△5.48	—
26年3月期第3四半期	3.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	4,002	2,664	65.3	527.29
26年3月期	4,085	2,726	64.9	534.77

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,612百万円 26年3月期 2,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成27年1月28日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,465	3.8	210	3.8	210	17.9	115	20.1	23.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成27年1月28日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	4,955,000 株	26年3月期	4,955,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	— 株	26年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	4,955,000 株	26年3月期3Q	4,955,000 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の財政・金融政策の効果による外需関連企業の収益の改善などにより、景気は緩やかな回復基調が続いたものの、消費税増税の影響による個人消費の伸び悩みや急激な円安などにより、先行き不透明な状況となっております。

情報産業分野においては、クラウドコンピューティングやSaaSといった新規分野の拡大により、Webシステムの重要性は一層高まっており、企業の設備投資については大企業を中心に改善の兆しが現れているものの、全般的なコスト削減が求められ、依然として厳しい状況が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは、「①国内市場における確固たるプレゼンスの確立とグローバル展開の加速、②ビジネス中枢分野及びグローバルで通用するソリューションへのレベルアップ、③サービス事業の全体レベルアップと持続的な成長基盤の確立、④グループ経営のレベルアップと人材育成」を当期の重点方針として掲げ、業績の向上に努めてまいりました。

具体的には、「国内市場における確固たるプレゼンスの確立とグローバル展開の加速」として、スマートフォンなどの様々なクライアントアプリケーションに対応した通知機能を強化した、システム基盤製品「intra-mart Accel Platform」のアップデート版をリリースしました。

また、㈱テクノスジャパンと販売パートナー契約を締結し、ERPなど基幹システムと連携するフロントエンドシステムのソリューションをはじめ、顧客企業価値向上のためのソリューション展開を促進させます。

「ビジネス中枢分野及びグローバルで通用するソリューションへのレベルアップ」としては、当社製品からデータベースまでワンストップのサポートを可能にするため、PostgreSQLをベースにした低価格・高信頼性・導入手順の簡略化を実現したデータベース製品「IM-AccelDB」をリリースしました。

また、スマートデバイスを活用したシステムの展開を拡大する為、当社製品「intra-mart」と連携可能な㈱MetaMoJiが提供するスマートデバイス向け手書き文字入力プラットフォーム「7notes Pad+WC」の提供も開始しました。

「サービス事業の全体レベルアップと持続的な成長基盤の確立」としては、intra-mart 技術認定資格の保有者が2000名を突破し、更なる技術者育成の促進のため、新たにe-learningサービスの提供を開始しました。

上記のとおり、ビジネスの拡大に取り組んできたものの、海外子会社におけるオフショア案件の減少などの影響により、上期の落ち込みを回復するまでには至らず、売上、利益ともに前期比で減少となりました。

この結果、当社グループの平成27年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,949,185千円（前年同四半期比2.0%減）、営業損失51,808千円（前年同四半期 営業利益46,316千円）、経常損失42,167千円（前年同四半期 経常利益33,737千円）、四半期純損失27,177千円（前年同四半期 四半期純利益15,301千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

① パッケージ事業

「intra-mart」は、全国の特約店パートナーを通じて販売しており、海外案件や「Biz J」などのエンタープライズ領域における案件の期ずれが発生したものの、基盤製品、アプリケーションともに既存顧客を中心に受注案件数は復調し、全般的に堅調に推移しました。

この結果、売上高は1,649,269千円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

② サービス事業

「intra-mart」を利用したシステム開発やコンサルティングなどの周辺サービスは、昨年度より注力しているクラウド関連の新サービス分野などについては想定以上に推移したものの、受注を予定していた金融向けSI案件が期ずれするなど、上期に予定していた大型SI案件の失注による落ち込みを回復するまでには至らず、さらに海外子会社でのオフショア案件の減少などにより、全般に低調に推移しました。

この結果、売上高は1,299,915千円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

(当社グループの四半期業績の特性について)

当社グループのパッケージ事業及びサービス事業（コンサルティング、システム開発等）は、一般企業を対象としており、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。サービス事業の一部の売上高の計上基準については、工事進行基準を適用しておりますが、売上高の大半が工事完成基準（検収基準）である当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2、4四半期に集中する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産は、売掛金が減少したことにより、4,002,211千円となり、前連結会計年度末に比べ83,150千円、2.0%減少となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、パッケージ事業の製品保守の未経過分である前受金が増加したものの、買掛金等の支払に伴い流動負債が減少したことにより、1,337,611千円となり、前連結会計年度末に比べ21,172千円、1.6%減少となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したこと及び四半期純損失の計上により、2,664,600千円となり、前連結会計年度末に比べ61,977千円、2.3%減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月28日に公表した平成27年3月期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）通期の連結業績予想を以下のとおり修正しております。当該業績予想の修正の詳細につきましては、本日発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,000	450	450	243
今回修正予想 (B)	4,465	210	210	115
増減額 (B-A)	△535	△240	△240	△128
増減率 (%)	△10.7	△53.3	△53.3	△52.7
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	4,302	202	178	95

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,608,265	1,808,280
売掛金	650,343	415,574
たな卸資産	24,289	146,254
繰延税金資産	30,012	38,790
その他	208,666	136,803
流動資産合計	2,521,577	2,545,702
固定資産		
有形固定資産		
建物	84,559	85,459
減価償却累計額	△3,800	△13,183
建物(純額)	80,759	72,275
工具、器具及び備品	87,016	91,610
減価償却累計額	△37,879	△49,051
工具、器具及び備品(純額)	49,136	42,558
有形固定資産合計	129,895	114,834
無形固定資産		
ソフトウェア	954,554	921,721
ソフトウェア仮勘定	197,421	124,216
その他	72	72
無形固定資産合計	1,152,048	1,046,011
投資その他の資産		
投資有価証券	100,000	100,000
敷金及び保証金	103,704	111,590
繰延税金資産	77,857	83,997
その他	277	76
投資その他の資産合計	281,839	295,663
固定資産合計	1,563,783	1,456,509
資産合計	4,085,361	4,002,211

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	245,602	210,934
未払法人税等	42,358	4,133
前受金	569,997	702,126
賞与引当金	69,421	19,841
その他	244,471	189,365
流動負債合計	1,171,852	1,126,401
固定負債		
退職給付に係る負債	158,456	182,527
資産除去債務	28,475	28,682
固定負債合計	186,931	211,210
負債合計	1,358,783	1,337,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	738,756	738,756
資本剰余金	668,756	668,756
利益剰余金	1,214,918	1,175,353
株主資本合計	2,622,430	2,582,866
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	27,352	29,833
その他の包括利益累計額合計	27,352	29,833
少数株主持分	76,794	51,900
純資産合計	2,726,577	2,664,600
負債純資産合計	4,085,361	4,002,211

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,008,678	2,949,185
売上原価	1,914,977	1,903,900
売上総利益	1,093,700	1,045,285
販売費及び一般管理費	1,047,384	1,097,093
営業利益又は営業損失(△)	46,316	△51,808
営業外収益		
受取利息	89	137
協賛金収入	4,500	3,700
補助金収入	1,398	4,787
その他	777	1,068
営業外収益合計	6,765	9,693
営業外費用		
為替差損	19,318	-
その他	26	52
営業外費用合計	19,344	52
経常利益又は経常損失(△)	33,737	△42,167
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	33,737	△42,167
法人税等	37,086	11,557
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,348	△53,725
少数株主損失(△)	△18,650	△26,548
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,301	△27,177
少数株主損失(△)	△18,650	△26,548
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,348	△53,725
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	32,058	4,135
その他の包括利益合計	32,058	4,135
四半期包括利益	28,709	△49,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,536	△24,695
少数株主に係る四半期包括利益	△5,827	△24,894

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,523,109	1,485,568	3,008,678
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,650	59,690	81,341
計	1,544,760	1,545,258	3,090,019
セグメント利益又は損失(△)	354,300	△23,261	331,038

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	331,038
セグメント間取引消去	△7,642
全社費用(注)	△277,080
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	46,316

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,649,269	1,299,915	2,949,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,885	41,324	65,209
計	1,673,154	1,341,239	3,014,394
セグメント利益又は損失(△)	372,440	△145,170	227,269

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,269
セグメント間取引消去	8,500
全社費用(注)	△287,578
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△51,808

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。